



THE INTERNATIONAL ASSOCIATION Y'S MEN'S CLUBS

REGION ワイズメンズクラブ国際協会西日本区

JAPAN WEST

CHUBU

国際会長主題	「世を照らす光となろう」	“Be the Light of World”
アジア地域会長主題	「歳月は Y's をワイズ（賢者）にする」	“Years Bring Wisdom”
西日本区理事主題	「先頭にとってワイズの光を輝かそう クラブで、地域で、国際社会で」	
	“Let's Y'smen Light Shine before Others, in the Club, in the Community, in the World”	
中部部長主題	「前へ！声を掛け合い！」	“Go forward! Call together”

中部部報 2012—2013 年度第 1 号



「さあ 前へ」

中部部長 名古屋南山クラブ

荒川 文門

2012～2013 の中部部長の大役を
任されました名古屋南山クラブの荒

川 文門です。今年度の主題を「前へ！声を掛け合い！」“Go forward! Call together!” という言葉を選びました。ワイズ歴は、いたずらに長いのですが、30 年ほど前に旧日本区時代に北西部長とか少し役をさせて頂いたことはあるのですが、この 30 年ばかり外向きな役職には常に背を向け、自クラブの活動のみに終始していました。仕事の忙しさに名を借り、ずっとお断りし続けていたのですが、今期自クラブの事情などで部長をお引き受けすることになり、そんな後ろ向きな自分に檄を飛ばす意味と、部全体の前進の意味を込め、まず「前へ！」“Go forward!” と記しました。「声をかけあい！」“Call together!” には、昨年 3 月 11 日以来私どもの活動の大きな努力点、目標でもある震災復興の働きをしようとするとき、鍵となる言葉は、「絆」言い換えれば、声を掛け合ってお互いに確かめ合い、努力しあっていかなければ一歩も前進できない、と確信しているからです。さらにいろいろな映像でも、お互いに声を掛け合って復興に向かわれている皆さんに感動し、そんな意味を込め主題としました。今年度の目標を公私共に全てこの主題に込めたつもりです。

各事業については、主査の皆様方と緊密な連絡を取り合い、色々計画していきたいと思ひます。

1. Yサ・ユースについては、すでに決定済みですが、ユースコンボケーションに昨年急逝されました名古屋グランパスクラブの坂倉 洋ワイズのコメントが派遣されます。ただ派遣するだけでなく、その成果を聞くことも各クラブで積極的に進め、若い世代の持つ「国際性」理解に努めたいと思ひます。さらに Y.Y フォーラム等を通し若い人達と語り合うことにより今後の YMCA を担うべき人達を育てたいものです。今期は、中部からの下村明子事業主任の目標の一つでもあ

る YMCA リーダー達との連携を進め、共同のプログラムを主査と共に考えていきたいと思ひます。

2. 地域、環境事業については、比較的違った要素を持ったクラブがあり、各クラブが独自の努力目標を設定し達成できるようにして頂ますが、共通の CS.TOF などの理解を一層進めていきたいと思ひます。
3. EMC に関しては、やや元気の無い中部であります。若い人達が気軽に興味を持てるプログラムを展開し、EMC シンポジウム等を通し「E」を図りたいが、「M」・「C」にも十分注意していきたいと思ひます。各クラブの出席率の数字ではなく例会に出席することを楽しさ、交わり大切さを見つけれられるよう「C」を考えたいと思ひます。
4. ファンド事業に関しては、BF 事業の理解の徹底、EF、JWF に関しての関心を今一度喚起することなど図りたいと思ひます。ファンド事業の 0 の数字が無いよう考えて行きます。
5. 交流事業に関しては、4 年ぶりの STEP を中部より派遣することが出来ました。四日市クラブ大西博昭ワイズのコメントの慎太郎君がケニヤで 3 カ月ほどのホームステイを通し交流を深めて来ます。Yサ・ユース事業と同じように帰国後の成果を見守りたいと思ひます。また、部内の IBC 交流の際には、他クラブにも呼び掛けたり、出来れば合同の IBC 交流など実現したいものです。「国際性」を培う最良の方法です。是非実現したいと思ひます。
6. 広報事業に関しては、第一には、キャッチコピーで代表される社会に訴え掛ける広報性の充実、各種メディアを通してのアピールなどを考えます。いま一つは、便利なメール等で情報の氾濫があり、どれが重要なのか判断できなくなってしまうことがあります。発信源がどこなのか、ポイントはどこなのかをいろいろな情報を精査し的確且つ理解しやすい情報を主査より流していきたいと思ひます。そのことにより手段の簡略化、正確さを求めたいと思ひます。
7. メネット事業に関しては、中部の野村靖子事業主任

と共に部会の中でのメネットアワーの確保、「心のケア」の問題については、名古屋 YMCA 等との相談の上実施の方向で進みます。

以上各事業についての計画、予定を記しましたが、全て主査の皆様との相談の上取り組めるものから始めます。この一年、常に「前へ」を念頭に、いろいろな方々に「声を掛け合い、掛けられあい」楽しいワイズライフを送りたいと思っています。部内の皆様は勿論のこと全ての皆様のご協力をお願いします。今期中部各クラブ会長、事業主査のワイズ、ワイズメネットは以下の通りです。なお成瀬理事キャビネットの谷川事務局長、渡辺会計、平野書記は名古屋クラブ、Yサ・ユース事業主任の下村明子ワイズは名古屋グランパス、メネット事業主任の野村靖子メネットは東海クラブの所属です。

中部各クラブ会長・事業主査 その他主要役員

クラブ		
会長	事業主査	その他
金 沢		
幸正 一誠		
名古屋		
五島 八郎	川本 龍次 (交流)	成瀬西日本区理事他理事キャビネット
名古屋東海		
鈴木 一弘	松本 登 (EMC)	野村 靖子 (メネ主任)
名古屋南山		
小塚 英史	近藤 豊 (広報) 荒川まこと (メネ)	
四日市		
早川 直樹		若松 芳弘 (西日本区大会実行委員長)
名古屋グランパス		
阿部 一雄	松原 誠 (Yサ)	下村 明子 (Yサ主任)
名古屋プラザ		
高田 廣	島崎 正剛 (地域)	
津		
芝山 隆史		
金沢最川		
澤瀬 論	川村 孝治 (ファン)	平口 哲夫 (次期部長)

中部役員

役 職	氏 名	所属クラブ
部 長	荒川 文門	名古屋南山
直前部長	長谷川一宏	名古屋東海
次期部長	平口 哲夫	金 沢 犀 川
事務局長	森本 征夫	名古屋南山
書 記	杉山 弘時	名古屋南山
会 計	小林 滋記	名古屋南山
連絡主事	中井 信幸	名古屋南山
監 事	渋谷洋太郎	金 沢
直前監事	大島孝三郎	名古屋プラザ
H.P委員長	荒川 恭二	名古屋グランパス



『ワイズ海』 航路へ、ようそろ～

金沢クラブ会長 幸正 一誠

前期に引き続き今期も『ワイズ海』航路の船旅をご案内する事になり、御乗船のワイズアンド メネット各位に『楽しい～と笑い』の溢れるワイズセイリングライフをお楽しみ頂きたくこの一年しっかりと海図を読み取りながら船を操縦致したいと思っています。何せ、船客様には航海術に長けた大先輩船長が多数おいでですから……

さて、今回の航海には船長(会長)主題として「より楽しく・より豊かに 伝えようワイズワールド」を船首フラッグとして掲げ出港致します。特に今航海は定例寄港(例会)以外に特別寄港(特別例会)を数回予定し、ご乗船の皆様には『楽しい～と笑い』に満ちた船旅を感じて頂きたいと思っています。その一例とし滋賀蒲生野の地より多くの特別乗船客をお迎えし「焼牡蠣パーティー」を計画中です。又、今回は、ご乗船の皆様方にもお手伝いを頂き、この豪華客船(?)のPRをし、各寄港地より御一人、又御一人と多くの乗船仲間を増やす【ヒョッコリヒョウタン島】大作戦を考案中です。乗船の皆様には、毎月配布される海図(ブリテン)をPRツールとしご利用頂き、『楽しい～と笑い』のあるワイズワールドを述べ伝えて頂きたいと思っています。そうすれば、必ずや、一年の激動の航海日誌を綴り終える頃には、乗船名簿に新しいお名前が増えている!!

それでは みなさん 錨を上げて よーそろー



共に手をとり広げよう "Y'sの輪・絆"

名古屋クラブ会長 五島 八郎

成瀬晃三西日本区理事をバックアップサポートして西日本区大会を、盛会

裏に終えること

例会の充実

講師 食事を含めて、良い企画をたてる事に尽きると思います。

奉仕活動の充実

そとに出て行く時ほど、クラブは盛り上がり楽しくなるというのが今までの経験から得られた私の感想です。

キリスト教社会館や愛育園、さふらん園など外部とのつながりを大切にしたいと思います。

交わりの充実

区、部、IBC、DBCなどの他クラブ、外国のクラブとのつながりの中で楽しく目を広げていく所存です。



Why not the Y's ? —やっぱりワイズでしょ—

名古屋東海クラブ 鈴木 一弘

歴史あるクラブの会長職を担うことになり、不安で一杯が正直な思いです。

ところで、我がクラブのブリテンの表紙には、「Dream」「限りなき熱情を奉仕に」「強い義務感を持つ」との言葉があります。また、日本ワイズメン運動史には「若さの東海」と称賛された時代が記されているそうです。

迷った時には原点に帰ろう、そして年度初めの会が「裸で語り合う会」であるように、経験豊かな諸先輩、前会長に相談しつつ、気持ちも若く、夢を抱いて奉仕しよう。この気持ちで1年を務めたく思います。

因みに会長表題は、アメリカ第39代大統領のJ.カーターのフレーズ “Why not the best ?” に肖りました(決して某英会話学校のパクリではありません)



一つ一つの例会を 大切にしよう。

南山クラブ会長 小塚 英史

いつも皆様にはお世話になっております、南山クラブの小塚です。このたび会長の任を仰せつかりましたので、これからの一年間

よろしく願いいたします。

このたび「会長」にならせていただき会長主題として考えたことは「一つ一つの例会を大切にしよう。」と言う基本的な心構えでした。自分は会社人として大切なプライベートの時間をワイズ活動に割いています。みなさん、同じように大切な時間をワイズ活動に割いておられると思います。なので改めて「例会を大切に」したいと思います。そしてもう一つ、南山ワイズ(南山YMCA)は南山幼稚園と隣接しています。このことはとても幸せなことで、お互いが協力しあっている環境にあります。実際に既に、幼稚園のプログラムの1つとして南山ワイズ農園で「芋掘り」を行い、南山ワイズ農園で収穫された野菜を南山幼稚園向けに販売する、等を行っておりますので今年には更にその協力体制を勧めたいと思います。これらの事を、今年目標として微力ではありますが私のワイズ活動の集大成として頑張りたいとおもいます。どうぞよろしく願いいたします。



明日に希望をクラブに活力を

プラザクラブ会長 高田 廣

今年度我がプラザクラブの会長を務めることになりました高田と申します。まず主題に掲げました「明日に希望」とは、プラザクラブに若い息吹を注入することに努力してゆくことということです。現在クラブのメンバーは高齢者が多く、若いメンバーを広く募り活力あるクラブにしたいと思えます。また、支援活動は先輩諸氏の意思を継ぎ、例年通り養護老人施設の訪問と軽度発達障害児と共に野外活動を行います。私の年齢こそわがプラザクラブの最年長ですが、まだワイズ暦は浅く無知ですので、一生懸命勤める所存です。皆様のご指導をよろしく

お願いします。

終わりに私の友人が送ってくれたフレーズをご紹介します。

「人生は輝き続けるため常にチャレンジ、年齢を気にせず楽しむもの、頑張り過ぎずあきらめない、年齢と経験は社会に寄与するもの、花の50代、はじける60代、笑顔の70代、チャレンジの80代。安らかな90代、そのため水と栄養のバランスにこだわり、健康第一の生活習慣作りをする。

YMCA. ワイズのために頑張ります。



ワイズのご縁をいかそう! “Make good use of Y's men's chances”

新しい出会いのために行事参加を楽しみましょう
“Let's enjoy joining Y's men's events for a new encounter”

四日市クラブ会長 早川 直希

歴史ある四日市ワイズメンズクラブの会長となる事の重責を感じながら、心引き締め頑張って努めてゆく所存でございます。これからの1年間どうか宜しくご指導を賜りますようお願い申し上げます。

若松前会長、郷戸直前会長と歴代の会長が多くの変革をなされ、四日市ワイズメンズクラブも全国から注目されるクラブになりました。

今年は西日本区大会が名古屋の地で開催され、四日市ワイズメンズクラブがホストクラブを務める事となり、全国各地から多くのワイズメンが、名古屋の地を訪れる事をサポートしてまいります。一人でも多くのワイズが新しい出会いを求め、お出掛け頂ける事をお祈りいたします。

昨年は東日本大震災で多くの方がお亡くなりになられ、日本人の自信も揺らいだ年だったと思います。しかし多くの方の多額の義捐金やボランティア活動など、互いに助け合う絆を感じとった一年でもあったはずで

日本人の本来持っている、奥深いいたわりの心、「わび」「さび」と言った、昔から伝わる感性を大切にする日本人本来の「和」の心も持った文化を後世に伝えて行くことがわれわれの役目でもあるとおもいます。

今回の名古屋大会は、一部を名古屋の能楽堂と日本の伝統文化を継承する場所でおこなわれます。古い伝統文化と新しい文化がミックスし新しい、改革が生まれてくる事で、後世が繁栄する土台作りができる時でしょう。そのなかで新しい出会いが生まれ、楽しい出会い、新しい試みが、楽しいクラブ活動につながって行くと思っております。

楽しいクラブライフになるように、新しい出会いのあるクラブ活動になっていくように、そこから大きな輪が広がっていきます、なんと素晴らしい事でしょう。皆様のご多忙の身であることは重々承知しておりますが、一つでも多くの会合に参加いただけることを願っております。

同じワイズ精神のもとに、集い交流するのは心癒されますし励みになると信じております。

たのしいワイズライフの一年にする事を誓い、挨拶とさせていただきます。



出会い、絆を大切に

名古屋グランパスワイズメンズクラブ

阿部 一雄

今年は名古屋グランパスワイズメンズクラブ 20 周年を迎える年度となっております。私は 10 周年の時も会長を務めさせて頂いており、こうした巡りあわせに立ち会う機会を大変感謝しています。

会長方針を考える上で、昨年起きた「東日本大震災」を考えずにはいられません。また、20 年前のチャーターナイトの冊子を読み返しました。その中で、クラブ発足にあたり吉田一誠初代会長が「切っ掛け」についてメッセージを寄せていました。クラブとして記念の年、復興に向け本格的に開始されている「切っ掛け」の年ではないかと思っています。

当クラブのプログラムを見直すと、対外的なプログラムが少なくなってきました。そこで今年度は「出会い、絆」を求め、各地へ出掛けるプログラムを幾つか実施することに致しました。主題の「出会い、絆を大切に」をテーマに、各地を訪れ次なるクラブの発展に繋げる考えです。各地訪問の具体的な目的は以下の通りです。

①一泊例会（淡路島）

かつての震災被災地を訪れることで復興の様子を知り、阪神淡路大震災の記憶を風化させない例会とする。

②富士山部例会訪問

東日本区との数少ない機会を活かし、人事交流につなげ、情報交換を行う。DBC を結ぶ横浜とつかワイ

ズメンズクラブとの交流も図りたい。

③仙台 YMCA 訪問

東日本大震災の被災地を訪れ、現地のニーズ、これからの復興支援を考える（現地との下打ち合わせ済）。

④横浜 YMCA リーダー宅話

現役リーダーを講師とし、ワイズメンと YMCA との関係を見直す機会とする。

⑤サンドルクラブ訪問（韓国）

サンドルクラブ 30 周年及び当クラブ 20 周年を共に祝い、両クラブの絆を深めるプログラムを予定します。



活力に満ちたワイズライフを！ “Vitalize Our Lives at the Y's Men's Club！”

金沢犀川クラブ 澤瀬 諭

前年度の北会長の後を受け、2012 - 2013 年度の金沢犀川ワイズメンズク

ラブの会長をさせて頂くことになりました。当クラブは、前年度に 4 年ぶりの新入会員を迎え 7 名になり元気を頂きましたが、残念ながら年度末に一名退会のため 6 名でスタートとなった次第です。

少人数のクラブなので大きなことはできませんが、地道に一歩ずつ着実に成果を重ね、「小さいながらもきらりと輝る」クラブを目指し、最重要課題である会員増強に繋げていきたいと思っております。「活力に満ちたワイズライフを！」を会長主題に掲げましたのも、特に今年度は例会にメネットの参加を促し、活力ある楽しい例会にしたいという私の色々な思いをこめてのことです。

何しろ初めての会長ということで戸惑うことばかりですが、皆さまの強力なご支援とご協力のもと努めてまいりますので、よろしくお願ひします。



ウェルネスに生きる

津ワイズメンズクラブ 芝山 隆史

「ウェルネスとは、自分の人生には自分で責任を持つことを知り、より幸福でより充実した人生を送るために、自分の現在の生活習慣（ライフスタイル）を点検し、自分で変えなければならないことに気づき、これを変革し続けていく過程である」（野崎、2007）とあります。

現代日本社会は、高度成長時代を経て、いろいろな歪みや矛盾を抱えて今循環型社会に転換していく真っ只中にあります。ですが、その過去の繁栄がゆえに、今後どうやって転換していったらいいのだろうか、我々はどうもその方向性や理念が見出せずに混乱し立ち止まっている

状況にあると言えるのではないのでしょうか？

そんななかで、この「ウェルネスに生きる」ということを一人ひとりの目線で考え、小さいながらも行動に移していくことは大きな現代的意義を持っているのではないのでしょうか？

「ウェルネス」の概念を最初に日本に広めたのは、ほかでもない日本 YMCA です。

この「ウェルネスに生きる」の遺伝子が持つ現代的意義を具体的にどう活かしていくかを津ワイズメンズクラブの本年度の主題としたいと思います。最初は小さなこと、身近なことからしかできないかもしれません。しかし、まずは我々が変わっていかねばよい社会は訪れません。

「Think Global Act Local」という言葉もあるように、三重県津の地元の身近な生活環境の中に、小さな風、小さな波紋を起こしましょう！

「ウェルネスに生きる」は人生の永遠のテーマであり、その過程は、我々自身が行動をはじめなければ決して始まりはしないのですから。



EMC 事業主査方針

EMC 事業主査 松本 登
(名古屋東海クラブ)

EMC の意義、目的を今一度点検し直し、各クラブの現状を分析する。そのうえで目標を設定し明確にしていきたいと思います。その過程で各クラブの短期的な目標、中長期的な実施計画を作る。EMC 事業主任と連絡を密にし、EMC シンポジウム等を開き、新しいメンバーの紹介、特に若いメンバーの獲得に努力できるよう各クラブに伝える。

EMC は基本的には各クラブの問題ではあるが、中部としてのまとまりを示し、「EM」は当然のことながら、特に「C」の問題も考えていきたい。例会に出席することが、ワイズ活動に小本であり、その力で「EM」繋がるよう各クラブの連携が図れるように努力したい。来年度の西日本区大会の席で、中部から多くのクラブが EMC 表彰の壇上に立てるよう EMC 活動を進めていきたいと思います。



ファンド事業主査方針

ファンド事業主査 川村 幸治
(金沢犀川クラブ)

ファンド事業には、ご存じのように次の3種類あります。

1. BF (Brotherhood Fund ブラザーフード貴金)
使用済み切手と現金で一人当たり US \$15 を拠出する

西日本区目標 US \$22,500

2. EF (Endowment Fund 国際ワイズ信託基金)
各メンバー一回辺り US \$120 (昨年までは US \$100)
西日本区目標 US \$5,000

3. JWF (Japan West Y's Men's Fund)
一口 5,000 円 西日本区目標 50 万円 (昨年度実績などを考慮し従来の 100 万円から変更)

以上の3種類ともワイズ活動を支える重要な事業です。各クラブにファンド事業の重要性を徹底させ未納入のクラブのないよう連絡を密にしたい。それぞれの事業を十分理解し、国際理解に繋がるファンドであることを確認する。あらゆる機会を通してファンド事業をピアーアールしていきたい。



地域奉仕・環境事業主査方針

地域奉仕・環境事業主査 島崎 正剛
(名古屋プラザ)

荒川中部部長の目標達成の支援と笠井事業主任の方針・目標の伝達が主査

の仕事とします。

西日本区笠井事業主任は、恒例の CS 献金 (1,500 円/1 人)・TOF 献金 (\$16/1 人)・FF 献金 (800 円/1 家族)・CS 資金援助の呼びかけ・奉仕環境事業のアンケート・ロールバックマラリアの理解と献金 (800 円) に東日本大震災への援助の促進・ワイズデーの実施・横浜国際大会環境宣言のカーボンニュートラルの理解と実行と多くの事業を方針に掲げられておられます。荒川中部部長の計画にも復興支援街頭募金やふるさと交流会等の地域奉仕・環境事業の切り口で計画をされています。具体的な内容は改めて文章化されると思いますが、次年度の西日本区大会中部開催準備と並行していくために多くの依頼や行動が必要とされるので、適宜にすばやく情報を発信していくことが必須と思いますし、中部の各クラブメンバーの一層のご理解ご協力をお願いし、各事業の 100% 達成をなして西日本区大会成功への弾みとしましょう。



2012-13 交流事業主査 方針と活動計画

名古屋クラブ 川本 龍資

主題：交流＝楽しみ→出会い→新発見
→自己研鑽

方針：正確な情報を収集し、有効な情報の発信を心掛けます

活動計画：

①所属クラブの外へ出る機会の促進

期中部内各クラブで持たれる、特別例会（プラスワン例会、IBC・DBC 例会、合同例会）部会、区大会、国際大会など、部内外のワイズとの交流の機会をクラブ会長様宛てに情報発信し、交流の機会を促進します。

②各クラブの IBC・DBC の現状の把握（アンケート実施します）

良好関係にあるクラブの活動を紹介します。

未締結クラブには部外・国外にて締結を希望しているクラブを紹介し、締結の足掛かりを促進します。

休眠中の締結先がある場合、原因を把握し、継続 or 解消など一定の結論を導きます。

③ワイズ独自の留学制度（YEPP、STEP）の周知

YEPP、STEP の制度を学習し、ワイズ独自の留学制度がある事を部内メンバーに周知できるよう努めます。（制度や手続きの連絡書発行など）

荒川部長のキャビネットとして「元気な中部」を実現できるよう、微力ながら力を注ぎます。よろしくお願ひします。



Yサ・ユース事業主査方針

Yサ・ユース事業主査 松原 誠
(名古屋グランパスクラブ)

今期のYサ・ユース事業に関しては以下の4項目努力目標とする。

1. YMCA との思いを的確に判断し、推進する。
2. ユースに目を向け将来も YMCA とのつながりを持つよう援助する。
3. YY フォーラムを実りあるものし、パートナーシップを作る。
4. 事業発展のために、Yサ・ユース事業の理解を深め、資金拠出を奨励する。

以上の目標に向かいワイズメンが積極的に現場に出向き、交わりを深め、ユースクラブを含め YMCA と繋がるメンバーの育成を図る。また YY フォーラムなどを通しユース同志、ユース、ワイズメンの交流を深めることが出来るような機会を提供したい。

今期は中部からもユースコンボーションに代表を送ることが出来その成果を期待したい。



広報事業主査方針

広報事業主査 近藤 豊

広報事業には、2つの大きな案件があります。まず第一にワイズメンズ活動を如何にPRし、どんな活動をしているかを社会にアピールする役目です。そのためには、メディアの使い方が重要になってきます。どのように各メディアを利用し、私たちの真の活動を知ってもらうかを追求することです。日頃の活動を如何に自然にかつ有効な手段を考えます。

第二には、洪水のように溢れる各種情報を厳選し、メンバーの皆さんに簡潔で重要な情報を如何に早く知らせる方法を考えることです。ともすると、多すぎる情報に慣れてしまいあまり関心を持たなくなってしまう傾向がありますので、どんな情報をどのように流すかを中部だけでなく西日本区全体でも事業主任を中心に考えてお役に立ちたいと思います。

二つの大きな事柄を中部のメンバーの皆さんに問掛けながら進めていきたいと思っています。



メネット事業主査方針

中部メネット事業主査 荒川まこと

こんにちは、名古屋南山ワイズメンズクラブのメネットの荒川まことです。南山クラブにはメネット会はありませんが、メンと共にワイズ歴は40年になります。

メネット会の無い名古屋南山ワイズメンズクラブ所属の私がメネット事業主査をさせて頂くことになりましたが、メネット事業の活動は分からないことばかりです。皆さまのお力をお借りしながら精一杯頑張りたいと思います。

南山ワイズメンズクラブのメネットは、メンの奉仕活動を通じ多くのことを学んでいます。その奉仕活動には何時も出来る限りの協力をしています。そんな折ふと気づくことは、メン、メネットに関わらず楽しい活動をするには健康第一です。健康であれば、笑顔にもなれ、人にも優しくできるものです。テレビを見ながらのストレッチとか、何かをした折のストレッチとか私もいろいろ健康には心掛けているつもりですが、皆様の秘訣などメネット会の折に紹介し合ったりして楽しいメネット会を持ちたいと思います。健康であり、メンと共に協力しあいいろいろな奉仕活動が出来たら最高だと思います。この一年よろしくご指導ください。